

シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	交通施策評価	小分類	TDM	シミュレーションモデル名	AVENUE			
適用事例名	T市幹線道路 TDM 施策検討							
概要	目的・概要	時差出勤による渋滞緩和の効果を評価する						
	本事例におけるモデル適用上の特徴	施策内容：ピーク時出勤者 10%の出勤時間を 30 分遅らせる						
対象範囲	T市幹線道路南北約 4km	対象時間帯	平日(午前) 7:00~10:00					
評価対象時期	平成 13 年							
対象道路網	一般街路ネットワーク							
ネットワーク規模	ノード数	8	リンク数	14	起終点ノード数	6	総トリップ数	約 17300
	一般街路ネットワーク		交差点数	2	信号交差点数	2	道路区間数	7
	自専道ネットワーク		分岐部数	—	出入口数	—	道路区間数	—
特記事項								
対象範囲及びネットワーク	(ネットワークの概略図面を添付)							
入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線構成					
	交差点部	飽和交通流率、右折専用レーン長						
	合流部							
	信号制御	設定パラメータ	サイクル長、スプリット、オフセット					
	作成方法	実測						
	交通需要	設定単位	OD 交通量					
		作成方法	観測値(交差点方向別交通量)から推定					
空間単位								
時間単位		10 分単位						
車両属性区分	小型、大型							
その他								
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式 1 秒/1 スキャン						
	パケットサイズ	1 台/1 パケット						
	経路選択原理	経路選択の必要なし						
	特記事項							
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	飽和交通流率					
	方法	通過断面交通量、区間平均旅行時間、滞留長が実測値に近くなるように設定						
	検証方法	通過断面交通量、区間平均旅行時間、滞留長の比較						
検証用データ取得方法	調査により取得							
出力データ	区間平均旅行時間、区間平均旅行速度、滞留長							
記入者	所属機関・部署	株式会社 熊谷組 土木本部社会システム部 交通システムグループ						
	電話	03-5261-5526	FAX	03-5261-5576	HP	http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/index.html		
公表文献・資料等								